



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テノックス

コード番号 1905 URL <http://www.tenox.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菱山 保

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 迫田 一彦

TEL 03-3455-7758

四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 4,452 | △6.4 | 189 | △58.6 | 206 | △55.4 | 166 | △49.9 |
| 28年3月期第1四半期 | 4,756 | △16.4 | 457 | 86.1 | 464 | 85.8 | 332 | 128.7 |

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 150百万円 (△51.8%) 28年3月期第1四半期 311百万円 (109.6%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 24.05 | 23.62 |
| 28年3月期第1四半期 | 48.19 | 47.40 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 15,840 | 10,385 | 64.0 |
| 28年3月期 | 16,481 | 10,338 | 61.2 |

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 10,135百万円 28年3月期 10,082百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 10.00 | — | 15.00 | 25.00 |
| 29年3月期 | — | — | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | 14.00 | — | 15.00 | 29.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 18,500 | △6.7 | 1,320 | △32.7 | 1,450 | △23.9 | 1,000 | △20.5 | 144.59 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 29年3月期1Q | 7,694,080 株 | 28年3月期 | 7,694,080 株 |
| 29年3月期1Q | 777,832 株 | 28年3月期 | 777,832 株 |
| 29年3月期1Q | 6,916,248 株 | 28年3月期1Q | 6,895,643 株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| 4. 補足情報 | 9 |
| (1) 受注高・売上高・受注残高内訳表 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が高水準で推移するなか、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復を続けてまいりました。一方で、中国をはじめとする新興国経済の減速や英国のEU離脱問題など景気の先行きに不透明感が漂う状況にありました。

建設業界におきましては、民間設備投資は増加基調にあるものの公共投資は減少を続け、また慢性化した技能労働者不足からくる労務費の増加など、先行きに不安の残る状況下にありました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、施工管理体制の再構築を行い、「施工品質の向上」や「安全管理の強化」を進めるとともに「収益力」の強化に努めてまいりました。

しかしながら当第1四半期連結累計期間の売上高は、官公庁工事が減少したことなどにより44億52百万円（前年同期比6.4%減）となりました。また利益につきましては、売上高の減少や高採算の工事が減少したことなどにより営業利益は1億89百万円（前年同期比58.6%減）、経常利益は2億6百万円（前年同期比55.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億66百万円（前年同期比49.9%減）と前年同期を下回る結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億40百万円減少し、158億40百万円となりました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等が4億2百万円減少、電子記録債権が92百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億87百万円減少し、54億55百万円となりました。これは主に支払手形・工事未払金等が5億57百万円減少、未払法人税等が4億24百万円減少したことによるものであります。また、純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ46百万円増加し、103億85百万円となりました。これは主に利益剰余金が60百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | 6,580,709 | 6,501,469 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 4,506,919 | 4,103,974 |
| 電子記録債権 | 1,196,852 | 1,104,276 |
| 未成工事支出金等 | 510,920 | 484,686 |
| 未収入金 | 757,196 | 798,025 |
| その他 | 258,946 | 152,553 |
| 貸倒引当金 | △3,697 | △2,113 |
| 流動資産合計 | 13,807,846 | 13,142,872 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,990,462 | 2,027,697 |
| 無形固定資産 | 63,605 | 56,188 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 640,207 | 634,396 |
| 貸倒引当金 | △20,397 | △20,397 |
| 投資その他の資産合計 | 619,810 | 613,998 |
| 固定資産合計 | 2,673,878 | 2,697,884 |
| 資産合計 | 16,481,724 | 15,840,756 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 4,405,818 | 3,848,371 |
| リース債務 | 35,262 | 31,228 |
| 未払法人税等 | 521,682 | 97,125 |
| 未成工事受入金 | 55,806 | 95,640 |
| 引当金 | 95,816 | 204,993 |
| その他 | 438,003 | 642,611 |
| 流動負債合計 | 5,552,388 | 4,919,970 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 18,419 | 13,477 |
| 退職給付に係る負債 | 474,502 | 459,384 |
| 引当金 | 12,000 | 5,009 |
| その他 | 85,734 | 57,426 |
| 固定負債合計 | 590,656 | 535,297 |
| 負債合計 | 6,143,045 | 5,455,268 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,710,900 | 1,710,900 |
| 資本剰余金 | 2,382,063 | 2,382,063 |
| 利益剰余金 | 6,277,258 | 6,338,222 |
| 自己株式 | △308,971 | △308,971 |
| 株主資本合計 | 10,061,250 | 10,122,214 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13,177 | 8,411 |
| 為替換算調整勘定 | 7,691 | 4,932 |
| その他の包括利益累計額合計 | 20,868 | 13,343 |
| 新株予約権 | 53,967 | 56,999 |
| 非支配株主持分 | 202,592 | 192,930 |
| 純資産合計 | 10,338,679 | 10,385,487 |
| 負債純資産合計 | 16,481,724 | 15,840,756 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 4,756,200 | 4,452,564 |
| 売上原価 | 3,925,800 | 3,851,472 |
| 売上総利益 | 830,400 | 601,092 |
| 販売費及び一般管理費 | 373,056 | 411,770 |
| 営業利益 | 457,343 | 189,321 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 249 | 105 |
| 受取配当金 | 4,299 | 4,296 |
| 仕入割引 | 4,831 | 4,789 |
| 持分法による投資利益 | — | 5,686 |
| 物品売却益 | 697 | 752 |
| その他 | 559 | 2,079 |
| 営業外収益合計 | 10,636 | 17,710 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9 | 14 |
| 売上割引 | 470 | 22 |
| 持分法による投資損失 | 2,919 | — |
| 為替差損 | 3 | — |
| 営業外費用合計 | 3,401 | 36 |
| 経常利益 | 464,578 | 206,995 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 22,200 |
| 特別利益合計 | — | 22,200 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | — | 822 |
| 特別損失合計 | — | 822 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 464,578 | 228,373 |
| 法人税等 | 163,720 | 70,776 |
| 四半期純利益 | 300,858 | 157,597 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △31,414 | △8,762 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 332,272 | 166,359 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 300,858 | 157,597 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,510 | △4,765 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 849 | △2,759 |
| その他の包括利益合計 | 10,360 | △7,525 |
| 四半期包括利益 | 311,219 | 150,071 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 342,633 | 158,833 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △31,414 | △8,762 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注高・売上高・受注残高内訳表

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

①受注高・受注残高

| セグメントの名称 | 受注高(千円) | 受注残高(千円) |
|-------------------|-----------|-----------|
| 建設事業 | 4,295,823 | 8,413,372 |
| 土木建築コンサルティング全般等事業 | — | — |
| その他の事業 | — | — |
| 合計 | 4,295,823 | 8,413,372 |

(注) 当連結企業集団では土木建築コンサルティング全般等事業及びその他の事業は受注生産を行っておりませんので、同事業については受注高及び受注残高の記載を省略しております。

②売上高

| セグメントの名称 | 金額(千円) |
|-------------------|-----------|
| 建設事業 | 4,700,976 |
| 土木建築コンサルティング全般等事業 | 51,878 |
| その他の事業 | 3,346 |
| 合計 | 4,756,200 |

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

①受注高・受注残高

| セグメントの名称 | 受注高(千円) | 受注残高(千円) |
|-------------------|-----------|-----------|
| 建設事業 | 5,380,583 | 6,748,169 |
| 土木建築コンサルティング全般等事業 | — | — |
| その他の事業 | — | — |
| 合計 | 5,380,583 | 6,748,169 |

(注) 当連結企業集団では土木建築コンサルティング全般等事業及びその他の事業は受注生産を行っておりませんので、同事業については受注高及び受注残高の記載を省略しております。

②売上高

| セグメントの名称 | 金額(千円) |
|-------------------|-----------|
| 建設事業 | 4,434,769 |
| 土木建築コンサルティング全般等事業 | 14,698 |
| その他の事業 | 3,097 |
| 合計 | 4,452,564 |